

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム春桜1階	評価実施年月日	平成21年6月30日
評価実施構成員氏名	鈴木 知子 ・ 岩谷 真由美 ・ 鳥田 淑子		
記録者氏名	鳥田 淑子	記録年月日	平成21年7月30日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>開所時より、其の人らしく生きる為の理念を掲げています。</p>		<p>地域の中で、其の人らしく生活できるように外出などを工夫しています。</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>常に理念を念頭におき、実践に向けて日々取り組んでいます。</p>		<p>見やすい場所に理念を掲げ、理念を記入したカードを携帯しています。申し送り時、理念を唱和しています。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>理念を理解していただけるように工夫して取り組んでいます。</p>		<p>パンフレットや、春桜メールにも理念を載せ、ご家族に郵送しています。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>近隣の方々とは、常に友好的に接し挨拶などを行っています。</p>		<p>ホームの花畑にベンチを置き、前の坂では子供たちが遊んでいます。時々親子ずれで見に来ています。</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>経営者自らが、町内会の行事に参加して、交流しています。</p>		<p>町内会の夏祭りに、入居者様とともに参加する予定です。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議にて、町内会長さん、民生委員の方から、町内で役立てることをお聞きしながら、取り組んでいく予定です。</p>	○)	<p>町内会の方々の意見をお聞きし実施する予定です。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>外部評価を活かし、改善点は速やかに改善し、実行しています。</p>		<p>前回の改善点はすべて改善しています。</p>
<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>8 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進委員会で、ホームの様子を委員の方々にお知らせし理解を得ています。</p>		<p>運営委員会で、委員の方から出た意見や、要望を速やかに取り入れ、ケアに活かしています</p>
<p>○市町村との連携</p> <p>9 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>市町村担当の方「地域包括支援センター」は多忙なため、あまり出席出来ませんが、会議の内容を文書にて毎回報告しています。</p>	○	<p>地域包括センター以外からも担当者の出席をお願いする。</p>
<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>10 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修会に参加して、成年後見人制度について学んでいます。又ホーム入口に内容を掲示しています。</p>		<p>研修会に参加し学んでいます。</p>
<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>11 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>「身体拘束廃止推進委員会」に参加し虐待のないホームにしています。</p>		<p>入浴時などに入居者の身体をチェックし、記録に残し、ご家族に報告しています。(</p>
4. 理念を実践するための体制			
<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>12 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>十分な説明を行った上で、契約し、ご家族の理解を図っています。</p>		<p>重要事項説明書にそって説明し、同意のサインを頂いています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 ○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営規定の中に項目を設け、説明をしており、不満や苦情を受け入れる体制をとっています。</p>		<p>1階ホールの入り口の、目立つところに御意見箱を設置し、いつでも意見を入れられるようにしています。</p>
<p>14 ○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>年4回季刊誌「春桜メール」を発行し、ホーム全体の変化や、各階の行事や又個人の健康状態などを、お知らせしています。それぞれの面会時、金銭の状態を確認して頂いたり、細かな報告をしています。</p>		<p>春桜メールの発行。各行事の案内のお便りも出したいと思っています。</p>
<p>15 ○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議で、家族の代表から意見等を受けています。</p>		<p>家族会の発足を予定しています。又面会時、意見等をお聞きし運営に反映させています</p>
<p>16 ○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月2回の会議やリーダー会議、春桜運営会議で出された意見や、提案を聞き、反映させています。</p>		<p>猛暑の対策として居室の窓の外に、朝顔の緑のカーテンを作る為に、木枠を作ってもらったり、日陰に、入居者が涼める空間を設置してもらいました。</p>
<p>17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>重度化に伴う、問題行動や危険の可能性がある場合は、速やかに勤務を調整しています。</p>		<p>時間外勤務や、2名で夜勤をする等、工夫しています。</p>
<p>18 ○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>離職する職員は少なく、2年以上離職者は出ていません。管理者と計画作成担当者は開設時より7年間勤務しています。</p>		<p>職員がより働きやすいように、意見交換を常時しています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	新人が入ったら、オリエンテーションを始め、勤務年数や経験に応じ、法人内外の研修をうける機会を確保し、実践しています。		全国認知症大会、身体拘束廃止推進委員会、北海道グループホーム大会、タクティールケアの理念と実際、現任専門職研修 認知症ケア 連続講座①その他。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	同じ地域のグループホームの管理者会議やケアマネージャーの会議に参加し、ネットワーク作りをしています。		厚別区のグループホームが職員の見学会を行い、交流を深めました。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	ゆっくり休める休憩場所と時間を確保し、ストレスを軽減する環境を作っています。又悩みを気楽に相談できるように工夫しています。		月2回のカンファレンスや毎日の申し送りの時間に、悩みや相談を話し合っています。
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	各自が自ら資格を取る意識が強いので、研修や講座受講に関して休日や勤務時間の工夫をしています。		院内発表などの機会があり、普段の成果を実証でき、張り合いを持って働いているとおもいます。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ホームの見学をゆっくりとして頂き、その後自然な形で、お茶などを飲みながら、本音を話せるように工夫しています。		本人が自らお話しして頂ける様に、工夫して対応しています。
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	入居相談、ホーム見学、判定見学、契約時説明と、状況に合わせ3. 4回は家族などからお話を聴く機会をつくり、努力をしています。		お話し易い雰囲気づくりや、家族の身になった対応を工夫しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	デイサービス、ショートステイ、老人ホームなど、本人と家族の状況や希望に合わせた対応を行っています。		グループホームへのショートステイ利用を勧めています。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前に必ず、本人をホームに招いて相互の意見を確認するように努めています。		個々の認知度により、その人に合った安心して頂ける対応を工夫しています。私の叔母です、と紹介するなど。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	共に生活する一人の人として、生活の中から学んだり、支えたりしています。		世間話の中で、生き方のヒントや、親孝行の仕方などを、教えて頂いています。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族の方とは、どんな小さなことでも相談しながらケアを提供し、又家族の方にもご協力頂けることはお願いし、一緒に支えています。		家族からの意見や、ホームからの伝達事項を細かく記録し、検討しています。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	家族との関係を見極め、より良い関係になるように支援しています。センター方式の記録を活用しています。		面会の度に、詳しいお話を、お聞きし双方が納得し、理解して頂ける様に努めています。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族の協力を得ながら、又相談しながら支援しています。センター方式を活用しています。		馴染みの方の訪問や、外出を支援しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士の関係を正確に把握し、食事の席を替えたり、夜、合わないように工夫したりしています。		夜間のみ、ポータブルトイレを使用し、出会わないようにしています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	現在まで退所後も継続的にかかわりを必要とする事例はありませんが、入院先へお見舞いなどは行っています。		契約が終了しても、継続的なかかわりを必要とする利用者があった場合は、関係を断ち切らないようにしていきます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや暮らしかたの希望の意向の把握に努めています。センター方式のアセスメントの中から、生活歴や馴染みの暮らし方の把握に努めています。		本人の思いや希望の把握が困難な場合は、家族の方にお聞きしています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人からの聞き取りや、家族からの情報、又センター方式のアセスメントの中から、生活歴、馴染みの暮らし方を把握しています。		以前の住居の担当の、ケアマネさんと連絡をとり、情報交換したことがあります。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人ひとりの一日の過ごし方を把握し、状況にあった暮らしができるように努めています。		本人や家族との、会話の中から、又心身の状態から洞察する努力をしています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成しています。		月2回のケアカンファレンスや、毎日の申し送り、職員間の意見交換などを活発にして、より良く暮らして頂く為に努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	月2回のカンファレンスで、ケアプランの見直しや現状に即した新たな計画を作成しています。		変化に応じて新たなプランを作成しています。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日の細かな出来事や心の変化なども、個別記録に記入しています。申し送りやカンファレンスで情報を共有し、ケアプランの実施に活かしています。		毎日の生活の中で、少しでも変化があれば話し合い、記録し計画の見直しをしています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	パウロ病院の内科、歯科への受診や、リハビリからの助言など、柔軟な支援をしています。		他院へ通院していたが、家族の都合により、その期間のみ、パウロ病院から薬を処方してもらいました。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	以前は、近隣の小学校の演奏会に行ったり、高校のクラブの演奏がきてくれたりしていましたが、今年は予定がありません。秋に向けて、計画をしようと思っています。	○	小学校の発表会や、中学校の吹奏楽を見にいきたいです。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	リースのベッドの使用や、補助具、車いすの購入などについて、ケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、利用するための支援をしています。		体調により、固形物を摂取出来ないとき、パウロ栄養価より、流動栄養食を提供してもらい、事なきを得ました。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	現在、地域包括支援センターとの協働している事例はありません。	○	本人の意向や必要性ができた時は、地域包括支援センターと協働していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	本人や家族の希望を大切に、納得を得たかかりつけ医に、適切な治療を受けています。		以前かかっていた、かかりつけ医の治療を受け、安心して生活しています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	母体のパウロ病院のかかりつけ医や、提携している精神科の専門医に受診し診断や治療を受けられるよう支援しています。		専門医と関係を築きながら、支援しています。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	ホーム長が看護師の為、気軽に相談しながら支援しています。		「特変用紙」という形式の記録に体の状態や受診について記入しています。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	母体パウロ病院や、連携している病院と協働し、入退院がスムーズにおこなえるようにしています。		入居者が入院したとき、安心して過ごせるよう、詳細な情報を提供しています。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	入所時より本人あるいは家族から希望を聞き、話し合っています。又重度化の早い段階から、かかりつけ医と相談し、本人と家族と共に話し合っています。		出来るだけ早い段階から、本人や家族と、細やかな話し合いを、何度ももっています。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	心身の変化を速やかに家族に報告し、かかりつけ医と共に、チームとしての支援に取り組んでいます。		重度や終末期の利用者が、より良く暮らせるよう、できることの全てを提供し支援して参りました。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>住換えによるダメージを少しでも少なくなるよう、カンファレンス等で十分に話あっています。</p>		<p>家族の協力を得ながら、できるだけ本人の希望に沿った部屋のしつらえや、好みを尊重し実践しています。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>人生の大先輩としての尊厳を保ち、常に言葉や態度に失礼の無いように、配慮しています。プライバシーの保護も徹底し、申し送りや記録の中でも個人名はイニシャルを用いています。</p>		<p>入居時に個人情報保護に関する説明を行い同意を得ています。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>おもいを言葉にできない時などは、表情やしぐさから汲み取れるように、常に注意を払っています。生活の中で自己決定出来るように、一人ひとりのわかる力に合わせた説明をし納得して頂くよう支援しています。</p>		<p>本人の行動の前後の状況から考察し安心して過ごせるように個々に応じた対応をしています。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>その人の生活歴や習慣等から考察し、本人のペースに合った生活を支援しています。</p>		<p>職員の都合を優先することなく、一人ひとりのペースに合わせた支援をしています。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>一人ひとりの希望を叶えられるように支援しています。理美容室へは4つのコースを自由に選ぶことができます。</p>		<p>1行きつけの美容室。2近所の理美容室。3パウロ病院の理美容室。4訪問理美容室。</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>出来るだけ多く参加して頂ける様に、その人の力や、好みに合わせて、野菜切り、もやしの芽とり、味見、盛り付け、おしぼりたたみ、配膳、下膳、食器洗い、かたづけ、テーブル拭き、等を、入居者と職員が一緒にしています。</p>		<p>男性の入居者もおしぼりたたみやモヤシの芽とりをさせていただきます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	本人の好みを、家族や本人からお聞きし、午前と午後のお茶うけや、食後のデザートとして提供しています。		入浴後や、手テレビを見ている時などに、個別に楽しめるようにしています。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりの排せつの記録を記入し、パターンを把握しており、サインがある時は素早く対応し、失敗を防いでいます。		失敗しても、自尊心に配慮した対応をしています。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	一人ひとりの希望やタイミングを洞察して、強要することなく、希望に沿って入浴を楽しんで頂いています。		一人ひとりの入浴時間を考慮して、その日に入る人数を決めたり、連日でも、希望があれば入浴しています。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人ひとりの生活パターンを把握しており、その時に応じて休息や眠れるように支援しています。		不安が募り眠れず、薬に依存しすぎている方には、偽薬で安心して休んで頂いています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	その人の能力に合った役割をして頂き、張り合いや生き甲斐を感じて頂いています。		花好きな方には、部屋の生け花をして頂いたり、庭の花を切って来て頂いたり、居室の掃き掃除、クイックル掛け等をしています。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	一人ひとりの能力に応じて、病院の売店に行っておやつを買ったり、近くのスーパーへ買い物に行ったり、希望や能力に応じた支援をそています。		ホームマックに行き、色々な物を見たり買ったりしてたのしんでいます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	晴れの日ほとんど毎日、花畑の花を見たり、玄関ポーチの椅子に腰掛け、良い風にあたり、しています。又希望があれば、スーパー等に行ったり、運動の為に、近所を歩いたりしています。		パウロ病院の喫茶店「山桜」に行ったり、六花亭の喫茶店、ホームマック等は良くいきます。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	年に何回か、ホームの行事として行っています。		花見 平岡梅園、いちご狩り、紅葉狩り、イルミネーション見物。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	いつでも希望があれば電話をとりついたり、手紙を出して差し上げたり、綺麗な便せんを用意したりしています。		お手紙を楽しく書ける様に、季節の花柄の便せんを用意すると、手紙を書く回数が増えました。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	ご家族やお友達が、自由にいつでも気軽に来て頂いています。スタッフは感じの良い対応を心掛けています。		入居者が電話で、来て頂戴と言うと、すぐに飛んできてくれるお友達がいいます。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の具体的な行為を、スタッフ全員が理解しており、拘束しないケアに取り組んでいます。		身体拘束はもとより、ちょっとした言葉使いにも気をつけ、常に職員間で話し合っています。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	鍵をかけることの弊害を、スタッフ全員が理解しており、日中、ホールや玄関には鍵をかけていません。		玄関は元より、ホールの入口の戸も解放し、自由に外へ出入りしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	キッチン是对面式になっており、作業しながらでも所在や様子を把握できる設計になっているため、安全に配慮しながら業務を行っています。		夜勤帯では、入居者から見えない位置から、見守りし、安全とプライバシーに配慮した対応をしています。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	一人ひとりの能力に応じて、使って頂いております。状態に応じて危険を防ぐ散り組をしています。		包丁で野菜を刻んで頂くこともありますが、けがをした事はありません。危険に配慮しながら、たくさんの事をして頂きたいと考えています。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	インシデント、アクシデント用紙を利用し、一人ひとりの注意事項を知り、事故防止に役立てています。		毎月10日を、転倒予防デーとして、履物の点検をしています又誤薬防止として、2重3重のチェックをしています。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	毎月10日を、転倒予防デーとし、履物の点検や、事故発生時の対応の確認をしています。又、ほとんどの職員が救急救命の講習を受けています。		応急手当、救急時対応マニュアルを、見やすい所に貼り、備えています。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年1. 2回の避難訓練を行っており、スタッフは利用者が避難できる方法を周知しています。又、パウロ病院と連携を図っています。	○	地域の方々の協力を得られるように、働きかけていきたいとおもっています。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	来訪された折に、話し合い、リスクを説明し、対策を話しています。		リスクについては、細かなことも、何度でも話し合い、理解をして頂ける様に努力しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々、排泄、水分、食事の状態をチェックし、定期的なバイタルチェックにより、変化や異変を早期に発見できるように努めています。又、速やかに情報を共有し、看護師であるホーム長に連絡し対応しています。		体調変化の早期発見の為に、午前と午後に全員が集い、お茶の時間を共にします。その他の時間にも表情や顔色をさりげなく観察し異常の発見に努めています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	各自の、薬の目的、副作用、形体を記した用紙を、いつでもすぐに、確認できるようにしてあります。又、事故防止のため、目立つ赤文字で注意事項を書き、目立つ所に貼っています。		毎日の申し送りや、記録から症状の変化を素早く読み取り、対処しています。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	すべての職員は、便秘の原因、及ぼす影響を十分に理解しており、毎日の食事やおやつを工夫しています。		毎日、おやつや食事に、ヨーグルト、牛乳、オリゴ糖などを、その人に合わせて、摂って頂いています。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	全員の、口腔内の状態を把握しており、その人に合った支援をしています。		食後は必ず、口腔ケアをしています。又臭いや痛み等がないか常に観察しています。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事量、水分量を記録し、不足なく摂取できるように工夫しています。		体調が悪く食事を取れないときには、ハイカロリー栄養食を飲んで頂いています。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	感染症予防マニュアルに添い、行っています。		流行していない期間でも、うがいと手洗いは1年中しています。職員が外から持ち込まないように、注意しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	管理マニュアルに添い行っています。		食中毒予防のパンフレットを、見やすい所に貼り、予防に取り組んでいます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	建物には、親しみやすい看板を取り付けてあり、花畑には1年中季節のはなを絶やさない、工夫をし、玄関まえの日陰のスペースには、テーブルやいすを置き、誰でも休憩出来る様に工夫しています。		近所の子供たちや、親子ずれが遊びに来ています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共有空間には、いつでも誰でも自由に過ごせるように、工夫してあり、季節を感じる飾りや、不快な音や光に十分注意しています。		強い光には、すぐにカーテンを張るなどし、快適に過ごせるようにしています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	広いホール内には、2か所のテレビを見るスペース、廊下の数か所にソファアを置き、玄関ホールや玄関の外にも、くつろぎスペースを用意しています。		入居者は、思いおもいに、自由に好きなところすごしています。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご家族や本人と相談し、馴染みのものを置き、居心地良く工夫しています。		馴染みのタンスや仏壇を置き、安心して過ごして頂いています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	その季節毎に、体に負担がかからないように、こまめに温度調節を行っています。		湿度、温度計を設置し、外気を入れたり、真夏にはクーラーを、心地良い温度に入れたりして工夫しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>車いすや歩行器を自由に使用できるように、広いスペースを確保しており、手すりも設置してあります。廊下の途中で休憩出来るように、いたるところにイスやソファを置き工夫しています。</p>	<p>建物全体がバリアフリーなので、駐車場から居室まで安全に移動できます。</p>
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりの判る力を活かして自立して暮らせる工夫をしています。</p>	<p>トイレの場所が一目でわかるように、赤く大きなハートマークの目印を付けてあり、失敗せずトイレに行けるように工夫しています。</p>
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>玄関ポーチのスペースに、テーブルといすを置き、休憩出来るようにしています。建物の周りには、花畑が広くあり、自由に見たり、果物を摘んだり、花を摘んだりしています。</p>	<p>玄関ポーチのスペースには、ウオーターガーデンを置き、涼んで頂いています。</p>

V. サービスの成果に関する項目

	項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>本人や家族から聞いたり、アセスメントシートにより、個々の思いや願いを掴んでいます。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどない</p> <p>食事やお茶は必ず共にしています。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>一人ひとりの生活のペースを、乱すことなく暮らして頂いています。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>自然な笑顔や仕草から、生き生きと暮らしていると思います。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>本人が望まれ、可能なところへは出かけています。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>棟続きのパウロ病院や希望する病院へ受診しています。</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<p>○①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない</p> <p>変化や要望を把握し、柔軟な支援ができるように努力しています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。	<p>○①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない</p> <p>小さな要望も記録に残し、実現できるよう努力しています。</p>

V. サービスの成果に関する項目

	項目	取り組みの成果
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>①ほぼ毎日のように ○②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p> <p>馴染みのお友達が訪ねています。</p>
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>①大いに増えている ○②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p>運営推進委員会を通して、少しずつ増えていると思います。</p>
98	職員は、生き生きと働いている	<p>○①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>離職者が少なく、生き生きと働いています。</p>
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>○①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>笑顔や生活態度から、ほぼ満足されていると思います。</p>
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>○①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>来訪時の態度から、満足されていると思います。</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
広いスペースと、自由な環境を確保しており、四季折々の花が一年中絶えなく咲いています。